

故李登輝閣下弔問訪台団のご報告

2020年7月30日の元中華民国故李登輝閣下のご逝去を受け、8月9日(日)日帰り、元内閣総理大臣・森喜朗先生を団長とする弔問訪台を執り行いました。

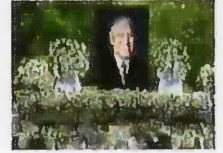
訪台は、国際検疫の観点から弔問団員は極力縮小し、なおかつビジネスジェットチャーターによって一般商用旅客からの隔絶状態を保持することを以て台湾の検疫当局の特例扱いをうけることといたしました。

また日本入国に際しましては、機内でPCR検査を受検し、帰国後14日間の公共交通機関の使用を自粛。同期間の面会・行動履歴を検疫当局に報告することで、当局の許可を得ております。

出来る限り台湾滞在時間を短縮した日程となりましたが、①蔡英文総統閣下との謁見、②故李登輝閣下追悼会場に於ける弔問、③ご遺族(李登輝元総統ご令嬢、ご令嬢夫君、ご子息のご令室)とのご面談を果たし、帰国いたしましたことをご報告いたします。

【訪台参加メンバー】 役職は日華懇役職、日華懇役職順に記載

団長 森喜朗先生、古屋圭司会長、岸信夫幹事長、衛藤征士郎顧問、富田茂之副会長、中川正春副会長、棟葉賀津也副会長、石井章副会長、長島昭久副会長、中山泰秀先生



日華議員懇談会 弔問訪台報告会・臨時総会

令和2年8月19日(水)16:00~17:00 於 衆議院第一議員会館 1F 国際会議室

1. 蔡英文総統との謁見(於: 総統府) ※冒頭は総統府HPおよび蔡英文FBでライブ中継

■蔡英文総統より、①李登輝元総統は台湾を民主主義社会に転換させる等、日台関係を重視してこられた、②在席の国会議員等の日台関係への貢献に感謝、③台湾のWHO総会参加に対する安倍総理外の支持に感謝、④コロナ禍の中で情報交換、ワクチン等の開発研究等についての日台協力を希望、⑤来年夏の東京2020五輪の円満な開催を心から祈念する旨を述べた。

■森元総理より、①李登輝元総統の逝去を受け、安倍総理と相談し、友人として自分が議員団を率いて訪台したことを伝え、②コロナの時期に特別な配慮で訪台を受け入れていただき感謝、③李登輝元総統のご冥福とこれまでのご指導への感謝を蔡英文総統に伝えてほしいとの言葉を安倍総理から預かっている旨述べた。

2. 李登輝元総統追悼会場への弔問(於: 台北賓館)

■ご遺族及び外交部長列席の下、森元総理による供花、古屋会長による弔問団一同からのメッセージのお供え、森元総理による弔辞を実施。

■弔辞では、我々の人間としての絆が、海を越え立場を越えたように、日台には多くの人と人の絆ができて、アジアと世界の平和と繁栄という夢を、スポーツを通じてあなたの方も追いかけていきたい旨述べた。

■安倍総理大臣から、ご令室・曾文惠女史に宛てたお悔やみの親書を持参し、遺族に手交。



3. 森団長によるぶら下がり記者会見(於: 台北賓館前)

■森元総理は、どこの国より一日も早く行くべきと考えた旨を強調し、今回の逝去を受けて安倍総理と相談し、友人としてぜひお参りしたいとして、国会議員団と一緒に訪問することとした旨発言。日本人が敗戦の中で自虐的になり、自信を持ていなかった中で、森元総理を含め、李登輝総統に勇気づけられた旨発言。

■(李登輝元総統とご縁について問われ、)森元総理が、総理在任中に、李登輝元総統(当時、総統退任後)から健康上の理由を目的として入国を希望するとの話があり、中国からの強い働きかけがある中で、人道的立場から査証の発給を認めたとのエピソードを紹介。

